



## V 具体的な今年度の取組

### (1) 性教育の授業づくり (参加型研修) 5月

模擬授業 「大切な心と体をまもるために」

内容; 不審者に話しかけられたときに「大声で『いや』という」「逃げる」「報告する」の3つのスキルを、教員役、生徒役、家族役に分かれ、ロールプレイを行った。ロールプレイの悪い例は教員が行い、障害のある児童・生徒は「良い例」を経験させることが重要と学んだ。

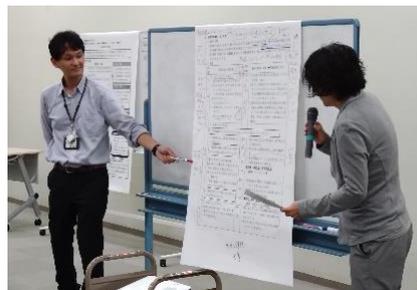
### (2) 学習指導案の作成 6月、9月、12月

**グループA**; 知的障害特別支援学校(支援学級)の中学部1~2年生を想定し、「思春期における体の変化(二次性徴)」の授業を組み立てる。

- \* 文部科学省や東京都教育委員会の性教育の手引を踏まえつつ、文部科学省検定教科書(保健、小学校3・4年)を活用し、具体的な展開方法を検討し、研究会としての素案を作成した。

**グループB**; 知的障害特別支援学校(高等学校)の生徒を想定し、「男女の関わり方・対人関係」に関する授業を組み立ててみる。

- \* 助言者が講演で使われたスライドをお借りし、実情にあった授業の流れを検討した。学校での取組も報告されてきている。



グループA 学習指導案の検討



グループB スライドを見ながらの検討

### (3) 講演会 (7月、8月)

テーマ 保護者と共に取り組む性教育 (7月)

障害のある子の性と対人関係 (8月)

講師 東京都心身障害者福祉センター 山本 良典 先生

内容 性教育は、社会性を身に付けるための教育であり、家族と連携して取り組むことが重要。適切なコミュニケーションの取り方や行動をどのように増やしていくかについてロールプレイを交え学ぶことができた。

## VI 第7回研究協議会 (研究成果報告会) について

日時 令和7年1月18日(土) 14時00分~16時30分

場所 国立オリンピック記念青少年総合センター

内容 (1) 東京都教育委員会挨拶 (2) 研究成果報告

(3) 記念講演 「学校における性教育の在り方」

~ 日本型包括的性教育の視点から ~

講師 全国性教育研究団体連絡協議会理事長

筑波大学名誉教授 野津 有司 先生

### <令和6年度連絡先>

団体名		東京都特別支援教育性教育研究会	
代表者	所属	東京都墨田特別支援学校	
	職 氏名	校長 朝日 滋也	
	連絡先	03-3619-4851	
事務局	所属	東京都立志村学園	
	職 氏名	主幹教諭 橋爪 淳	
	連絡先	03-3931-2323	
団体ホームページ	URL	東京都性教育研究会HPに掲載 <a href="https://toseiken-office.com/">https://toseiken-office.com/</a>	二次元コード
			